

第2期国民健康保険保健事業総合計画

(令和6年度・令和11年度)

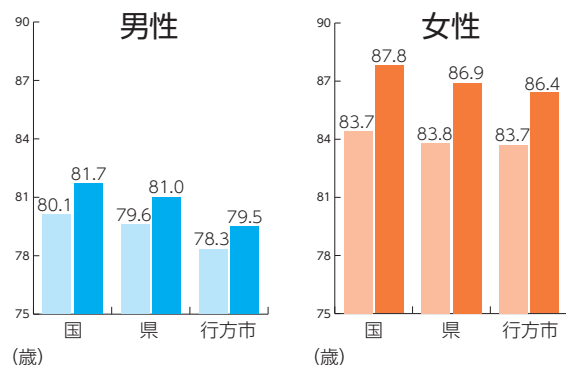
本計画は、行方市国民健康保険の医療費等の状況から推測する健康課題を解決し、市民が生活習慣病を重症化することなく、元気にいきいきと自立して暮らすために実施する保健事業を定めるものです。以降、本市国民健康保険加入者の状況をお知らせします。

(1) 行方市の現状

▼平均余命・平均自立期間

平均余命と平均自立期間は、男女とも国や県より短い状況です。この平均余命と平均自立期間の差の期間は「要介護」状態の期間となります。行方市では、男性で1・2年、女性で2・7年の差があります。

平均余命
平均自立期間

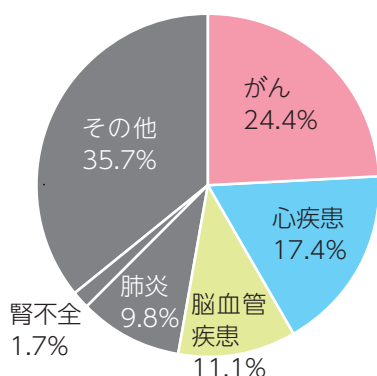


▼死亡の状況

行方市の死因は「がん」が24・4%と最も多く、次いで「心疾患」が17・4%と高い割合を占めています。標準化死亡比(※)が高い疾患を見ると、男女共に急性心筋梗塞、脳血管疾患、脳梗塞、肺炎による死亡が、全国に比べて多く、特に急性心筋梗塞は、全国の2倍以上となっています。

また、死因の状況をみると、脳疾患による死亡の割合が県や同規模市町村と比べて高い状況です。※標準化死亡比…人口構成の影響(高齢化率など)を除外した場合に死亡率が全国の何倍であるかを意味している。

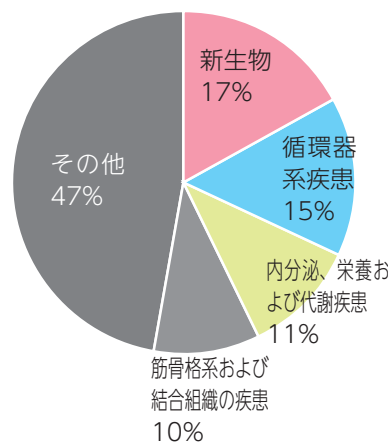
平成28年から令和2年までの行方市の死因割合



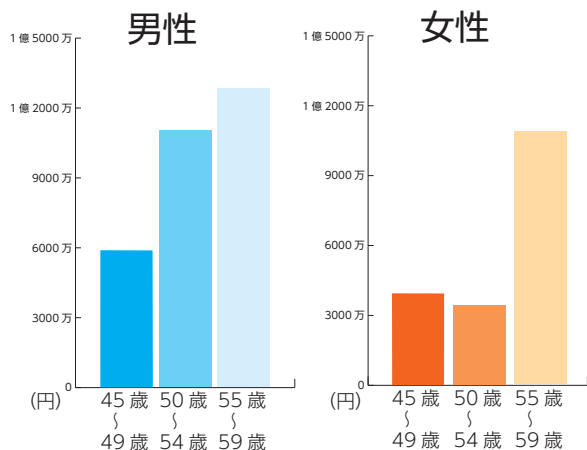
▼医療費の状況

大分類別の医療費の割合をみると「新生物」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養および代謝疾患」が高い割合を占めています。また、男女別に医療費をみると、男性は50代前半から、女性では50代半ばから急激に医療費が上がっています。

大分類別医療費



性別・年代別医療費



透析患者数は減少傾向にありますが、新規透析患者数は横ばいの状況です。また、透析患者の原因疾患の6割は、糖尿病性腎症です。

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
新規透析患者数	10人	7人	5人	8人	11人

【出典】国保連からの提供データ

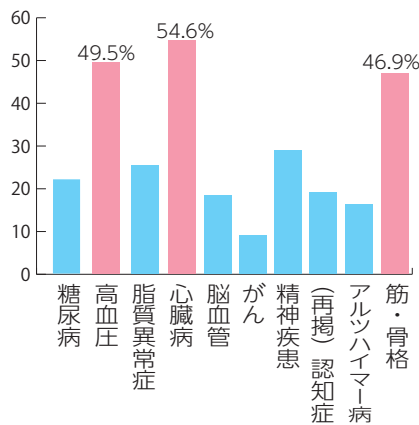
	全体数	糖尿病性腎症	脳血管疾患	虚血性心疾患
人工透析患者原因疾患	25人	15人 (60.0%)	11人 (44.0%)	5人 (20.0%)

【出典】KDB CSV2次加工ツールにて作成(令和4年6月～令和5年5月)：厚労省様式3-7★NO.19 人工透析患者(長期化する疾患)(令和4年5月診療分)

▼介護の状況

要介護または要支援の認定を受けた人の有病割合をみると「心臓病」が最も高く、次いで「高血圧症」「筋・骨格関連疾患」となっています。

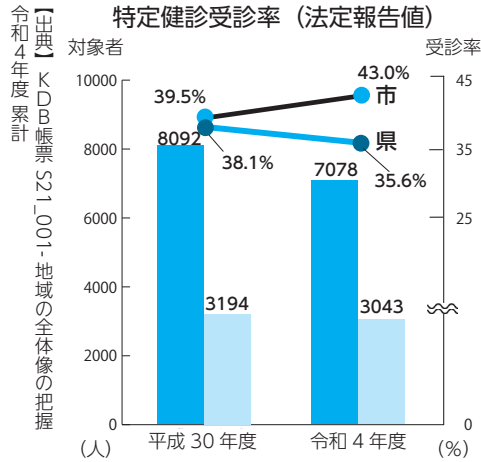
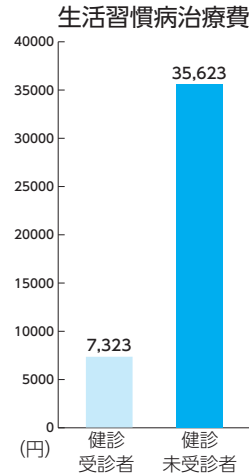
要介護・要支援認定者の有病状況



▼特定健診（40歳～75歳未満）の状況

特定健診の実施状況をみると、令和4年度の特定健診受診率は、平成30年度と比較して3.5%上昇しています。

健診受診の有無による生活習慣病医療費では、健診を受けていない人は、健診を受けている人に比べて5倍も生活習慣病の医療費がかかっています。



【出典】KDB 帳票 S21_001-地域の全体像の把握
令和4年度累計

メタボ該当者・予備群該当者における追加リスクの重複状況

項目	人数	割合
特定健診受診者数	3,050 人	—
腹囲基準値以上	1,182 人	38.8%
メタボ該当者	733 人	24.0%
高血糖・高血圧	136 人	4.5%
高血糖・脂質異常	59 人	1.9%
高血圧・脂質異常	259 人	8.5%
高血糖・高血圧・脂質異常	279 人	9.1%
メタボ予備群該当者	349 人	11.4%
高血糖	31 人	1.0%
高血圧	217 人	7.1%
脂質異常	101 人	3.3%
腹囲のみ該当者	100 人	3.3%

【出典】KDB 帳票 S21_025-厚生労働省様式（様式 5-3）令和4年度 年次

生活習慣の状況

項目	行方市	県
喫煙率	15.3%	12.3%
毎日飲酒	24.0%	24.3%
時々飲酒	17.6%	19.7%
飲まない	58.4%	56.1%
1 回飲酒量		
1 合未満	38.9%	54.4%
1～2 合	37.6%	23.7%
2～3 合	18.9%	9.4%
3 合以上	4.6%	2.9%

【出典】KDB 帳票 S21_001-地域の全体像の把握 平成30年度から令和4年度

さらに、健診時の生活状況の問診結果では、喫煙率が高いこと、飲酒の頻度は多くないが1回の飲酒量が多いことがわかっています。つまり、生活習慣病といわれる「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」である、またはその傾向にある人が多く、脳血管疾患や虚血性心疾患等になるリスクが高い人が多い状況であると考えられます。

（2）本市の健康課題

本市の健康課題とその要因と考えられる事由は、次のものが挙げられます。

- ① 脳血管疾患、心筋梗塞の標準化死亡が高い
- ② 糖尿病や高血圧を基礎疾患に持っている人が多い。
- ③ 慢性腎臓病（透析あり）の医療費が県平均と比べて高く、1件当たりの医療費も県内8位である。
- ④ 人工透析患者の6割は、糖尿病に起因している。

- ・ 健診結果（血糖、血圧、脂質）が、受診勧奨値を上回っていても、適切に医療につながっていない人が多い。
- ・ 生活習慣病（血糖や血圧等）の治療中にもかかわらず、コントロール不良の人が県平均より多い。
- ・ 特定健診対象者の57%が、健診を受けていない。特に40～50歳の特定健診受診率が低い。
- ・ 健診未受診者の18.2%は、病院も受診していないため、健康状態の把握ができていない。
- ・ 健診では、血糖の有所見者が最も多く、年々増加している。等

このような状況から、気づいた時には重症化しており、脳血管疾患や虚血性心疾患など、命に関わる疾患や人工透析に至ってしまった人がいるのではないかと考えられます。

元気に過ごすために、早期に自身の身体状況を把握し、生活習慣病の予防に取り組み、必要であれば医療を受けるといった、早期発見・早期治療が重要と考えます。その第一歩として、皆さんに健診を受けていただき、その結果から判明した病気を招く可能性や傾向を放置せず、生活習慣の見直し等に努めましょう。

詳細は、市公式ホームページをご確認ください。

定期的に健康診断を受診しましょう！

